

# 給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

御注意

4

1 黒のボールペン又はペンで記載してください。  
 2 「宛名番号」の欄には、特別徴収税額通知書に記載された宛名番号を記載してください。  
 3 「転勤(転職)等による特別徴収届出書」の欄には、前勤務先で本人から番号の提供を受け記載し、新勤務先に送付願います。  
 4 また、「給与所得者」の欄の「個人番号」は、前勤務先では記載せず、新勤務先では記載し、送付願います。  
 5 前勤務先では最下段の事項を記載し、「一月一日現在の住所(課税地)」の市町村長に送付してください。  
 6 給与の支払を受けなくなった後の住所(課税地)がある場合には、一括徴収することが義務づけられています。

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

小田原市長 あて		給与支払者 (特別徴収義務者)	住所(居所)又は所在地	〒											
年 月 日提出			フリガナ												
			氏名又は名称												
			代表者の職氏名印	印											
		個人番号又は法人番号													
給与所得者												(ア) 特別徴収税額(年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額(ア)-(イ)	異動年月日
受給者番号(整理番号)	フリガナ	氏名 (旧姓)										円	月から	月から	..
生年月日	昭和・平成 年 月 日										円	月まで	月まで		
個人番号															
1月1日現在の住所															
給与の支払を受けなくなった後の住所															

1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
※市町村処理欄					
特別徴収義務者指定番号		※市町村ごとに異なります			
宛名番号					
連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号	課・係				
	氏名				
	電話	(内線 )			
異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収	退職した年の1月から退職時までの給与支払額	退職手当等の支払額(支払予定額)		
1. 退職 2. 転勤 3. 合併 4. 休職 5. 長期欠勤 6. 死亡 7. 会社解散 8. 住所誤報 9. その他(特別徴収不可)	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収(1月以降は必須) <b>月分で納入</b> ( 月 日納期分) 3. 普通徴収(本人が納付) 3を○で囲んだ場合は、一括徴収できない理由欄に○	円	円	控除社会保険料額	勤続年数
		円	年		

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。

一括徴収の理由	異動者印	徴収予定		相続人の氏名等	
1. 異動が 年12月31日までで、申出があったため( 月 日申出) 2. 異動が 年1月1日以後で、特別徴収の継続の希望がないため		徴収予定月	徴収予定額	氏名	続柄
一括徴収できない理由			徴収予定額合計(上記(ウ)と同額)	住所	
(○を付してください。) 1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の希望がないため 2. 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額以下であるため 3. 死亡による退職であるため			円	電話	

※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、次のいずれかの理由を必ず選択してください。

1 (普B)	他の事業所で特別徴収(例:乙欄適用者)
2 (普C)	給与が少なく税額が引けない(例:年間の給与支給額が100万円以下)
3 (普D)	給与の支払が不定期(例:給与の支払が毎月でない)
4 (普E)	事業専従者(個人事業主のみ対象)

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※新規事業所の場合は記入不要です。)		連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号	課・係	新しい勤務先では		※市町村記入欄
新しい勤務先の住所(居所)又は所在地	氏名		月割額		円を 月分から徴収し、納入します。	
フリガナ	電話		新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。			
氏名又は名称	(内線 )		納入書 要 ・ 不要			
代表者の職氏名印						
個人番号又は法人番号						

【提出先】 〒250-8555 小田原市荻窪300番地 小田原市役所総務部市民税課市民税係